

城北中学校区新統合小学校

開校準備ニュース

令和 5 年（2023 年）9 月 No.8

発行者：飯山市城北中学校区新統合小学校開校計画推進会議
（事務局）

飯山市教育委員会事務局 子ども育成課学校教育係

電 話：0269-67-0741

メール：kodomo@city.iiyama.nagano.jp

城北中学校区の4つの小学校（泉台・常盤・戸狩・東）を統合し令和7年4月開校予定の、城北合小学校の開校に向けた検討を行っています。

城北中学校区新統合小学校開校計画推進会議では、市民の皆様には「開校準備ニュース」やホームページにより随時、検討・準備状況をお伝えしてまいります。



飯山市ホームページ
（開校準備情報）

子どもたちにとってより良い開校に向けて

飯山市教育長 松木 英文

前号でもお知らせしましたが、昨今の資材や人材の不足の影響等により、城北小学校校舎の完成が当初の計画から遅れ、令和7年7月となる予定です。4月から新しい校舎に通うことを心待ちにしていた児童の皆さんには、一学期を仮校舎で過ごすこととなり大変申し訳なく思っております。

おかげさまで、工事を担当していただく事業者も決定し、本年 10 月からは建設工事が始まります。私どもとしては、開校に向け、子どもたちが不安や負担を感じることなく、希望を持って新しい学校での教育がスタートできるよう、引き続き準備を進めてまいります。今号では、仮校舎使用を踏まえた開校計画等についてもお知らせしますので、保護者、地域の皆様のご理解をお願いいたします。

令和7年4月開校時の「仮校舎」は 現在の戸狩小学校校舎を予定

令和7年4月の開校時の仮校舎は、児童数や、建設する校舎との位置等を総合的に考慮して、現在の戸狩小学校の校舎を使用することとしました。4月の入学式及び開校式は仮校舎で行い、二学期開始に間に合うよう新校舎へ校舎機能を移転し、新校舎への移転後に開校記念式典を行う計画です。

なお、仮校舎使用期間中の児童クラブは、現在、戸狩児童センターとして使用している、飯山市勤労青少年ホーム内に設置する予定です。



仮校舎として使用する戸狩小学校校舎

通学方法は仮校舎使用による 負担増がないように配慮

城北小学校の通学方法は、令和7年4月から適用する新たな通学基準に基づき、区域別の通学方法を定めていますが、仮校舎使用期間中の通学方法は、児童の負担とならないよう以下のとおりとします。

仮校舎使用期間中の城北小学校通学方法

（1）バス通学区域の児童

仮校舎使用期間のバス通学区域の児童の通学方法は、仮校舎通学により通学距離が短くなる区域も含め、バス通学とします。

（2）徒歩通学区域の児童

徒歩通学区域の児童の通学方法は、原則徒歩通学としますが、仮校舎へ通学することにより通学距離が遠距離通学基準（高学年 3 km以上、低学年 2.5 km以上）を超える区域は、仮校舎に通学する期間の通学方法をバス通学とします。

校歌を作詞、作曲いただく方が決まりました！

城北小学校の校歌の作成にあたり、作詞を山崎浩さん、作曲をTAIRIK（佐田大陸）さんに担当していただくことが決定しました。

城北小学校の校歌作成については、令和4年度から開校準備委員会校歌分科会（統合する4小学校の保護者や音楽科教員などで構成）において、児童の意見を取り入れながら「校歌作成コンセプト」（開校準備ニュースNo.4に掲載）の作成や、作詞作曲をどなたに依頼したらよいかを検討していただきました。このほど、検討結果に基づき、この方々に依頼したところ、校歌の作成に快諾をいただいたものです。

令和7年4月の開校時に、全校児童で新しい校歌を歌うことができるよう、校歌は前年の9月頃までに完成させていただき、その後は4小学校の児童が交流をしながら城北小学校の校歌の練習を行っていく予定です。各方面で活躍されている両氏のコラボレーションによる新しい校歌の完成を楽しみにお待ちください。



作詞：山崎 浩さん



作曲：TAIRIK さん

（作曲者名表記について、飯山市では今後、アーティスト名である「TAIRIK」名義で掲載等させていただきます）

作詞作曲家ご紹介

やまざき ひろし

【作詞】山崎 浩 さん

飯山市出身、清泉女学院短期大学教授。声楽家、作曲家、合唱指揮者としても幅広くコンサート活動を展開。毎年東京・長野を中心にリサイタルを行なっている。作曲家としての代表作に CD アルバム「ありがとう こころをこめて」（キングレコード）、「金子みすゞの詞による歌曲集“蜂と神さま”」（カワイ出版）、作詞では飯山市立城南中学校及び城北中学校校歌も担当。セイジオザワ松本フェス、小林研一郎と仲間たち合唱団等でも合唱指導者として参加した他、合唱指揮者として、長野市、飯山市ほかでベートーヴェン第九市民合唱団を指導している。

たいりく

【作曲】TAIRIK さん

長野県出身、桐朋学園大学音楽部 同大学院修了。ヴァイオリニスト、ヴィオリスト、作曲家。ヴァイオリン&ピアノ3人によるユニット TSUKEMEN のメンバーとしても活動しており、アルバム『HAPPY キッチン』など、リリースした CD はクラシック・チャート1位を次々と獲得。海外でもアメリカ、アジア、ヨーロッパなどで 700 本を超える舞台に立ち、50 万人以上の観客を魅了している。長野では、テレビ信州で密着ドキュメンタリー特番を 2010 年より毎年放送。市内では、飯山市文化交流館なちゅらで今年 6 月に公演を開催。

作詞・作曲者の方々よりコメントをいただきました

城北小学校の旅立ちにあたり、学校のシンボルである「校歌」を TAIRIK さんと創らせていただけることに心躍らせています。皆さんが誇りに思って歌ってくださるような、元気になれるような作品を、心をこめて綴ります。 **山崎 浩**

小学校時代は当たり前のように、何にも考えずに校歌を歌っていましたが、今でも母校の校歌は覚えています。後から振り返った時に故郷を懐かしく思うような、飯山の心を感じられるような校歌を作りたいと思います。山崎浩さんとコラボレーションさせて頂き、城北小学校の校歌を担当できることを心から嬉しく思います！ **TAIRIK**



「城北中学校開校に向けた地域懇談会」を開催します

城北小学校開校に向け、校舎建設や、各委員会等の現段階の検討状況について、地域の方々にご意見を伺うための地域懇談会を右記のとおり開催します。ご参加いただけない方も、市ホームページから資料をご覧ください。ご意見等ありましたらお寄せください。（本ニュース発行日の都合で既に終了している回もありますがご容赦ください。内容はホームページ掲載の資料等をご覧ください。）



地域懇談会
案内ページ
(資料等)

城北小学校開校に向けた地域懇談会

- 開催日 ①9月13日(水) 東小学校
②9月14日(木) 戸狩小学校
③9月19日(火) 常盤小学校
④9月20日(水) 泉台小学校
(時間はいずれも午後6時30分より、各小学校ランチルームで開催)
- 内容
 - ・城北小学校の建設工事等について
 - ・開校計画等について
 - ・意見交換 他

運動服のデザインが決定しました

【運動服分科会】

城北小学校の運動服を検討してきた運動服分科会では、城北中学校区の小学校児童とその保護者、また未就学児保護者を対象に、運動服デザインに関するアンケートを実施しました。運動服デザインは仕様に基づき数パターンのサンプルを制作。各小学校や保育園に実物を展示していただきながら、アンケートにより色、形状、柄などについてそれぞれご意見を伺いました。

8月24日には運動服分科会でアンケート結果を基に検討し、最も回答が多かったものを最終デザイン案として選定。8月28日の開校計画推進会議において、分科会の提案どおり以下のとおりデザインが決定しました。

上着



- ・ベース色：紺
- ・襟元の色：青
- ・デザイン：無地

長ズボン



- ・ベース色：紺
- ・デザイン：ホッピング
(裾形状)

半袖シャツ



- ・ベース色：紺
- ・襟元の色：青
- ・デザイン：無地

短パン



- ・ベース色：紺
- ・形状：ハーフパンツ型
(写真中の校章はイメージです)

運動服のデザインに関するアンケート結果

(実施期間：令和5年7月3日～20日)

- 対象：城北中学校区に住民登録のある以下の方
 - ① 小学校児童
 - ② ①の保護者
 - ③ 未就学児の保護者
- 配布数：571 (回答数：458) ※回答率 80.2%
- アンケート集計結果

質問項目	選択肢	回答数
問 1-1 上着・襟元の色	緑	185
	青	270
問 1-2 上着・デザイン	無地	243.5
	肩口に切替	147.5
	肩にライン	59
問 2 半袖 T シャツ・襟の色	緑	138
	青	159.5
	紺	157.5
問 3 短パン・形状	クォーターパンツ	204
	ハーフパンツ	253

※長ズボンのみサンプルが1種類のためアンケート項目に入っていません。

地域連携活動検討委員会発足！ ― 7つの地域に根ざした城北小に ―

城北小学校の学区となる各地域の教育資源を教育活動に位置付けるため、「地域連携活動検討委員会」が設置され、8月29日に第1回の会議が開かれました。委員は瑞穂・柳原・富倉・外様・常盤・太田・岡山の7地区の区長会長、公民館長、育成会長、統合4校のコミュニティスクールの代表者及び教頭によって組織されています。

委員会の検討内容の説明等を行った全体会後は、現学校区毎に4つの分科会に分かれ、城北小に引き継ぎたい活動と地域独自で行う活動等の選別、ふるさと学習に反映できそうな地域の教材、人材等について熱心な議論が行われました。

委員からは、「各地区公民館で行っている活動を学校の授業に生かしたらどうか」「米づくりはこの田を使ったらよいか」「資源回収はどうなるのか」など様々な意見や今後の検討課題が出されました。城北小学校では、「ふるさと学習」を特色ある教育活動の重点の1つとしており、広い小学校区における7地域の教育資源の活用の検討は欠かせません。今後はこれらの意見をふまえて、地域の多様な特色を生かした豊かな教育活動ができるように、また地域にとっても身近で愛される城北小学校となるように検討を深めていきたいと思います。

検討した内容は来年1月以降に学校教育計画の原案に反映させていく予定です。



各小学校区に分かれ、今後の地域連携活動について
意見交換する委員の皆さん

校章デザイン原案の最終選定アンケートを実施します 【校章分科会】

7月初旬から1か月間募集していた校章デザイン原案は、小学生から大人まで、計167点のご応募をいただきました。校章分科会では、多くの応募作品の中から、校章の募集コンセプトを鑑み、特にコンセプトに合致すると判断した3点を選定。城北中学校区の小学校児童と保護者、同じく保育園児の保護者を対象に、最終選定案を決定するためのアンケートを以下のとおり実施させていただきます。

校章デザイン原案応募数

●小学生 143案

●一般（中学生以上）

24案

- ・ 期 間 令和5年9月下旬～10月13日（金）
- ・ 対 象 城北中学校区にお住まいの小学校児童と保護者、同じく保育園児の保護者
- ・ アンケート配布方法 ①小 学 校 児 童：各小学校で配布・回収
②小学校児童の保護者：児童を通じて配布・回収
③未就学児の保護者：市教育委員会からアンケート用紙を対象家庭に郵送、アンケートに記入後、返信用封筒で提出。
- ・ 選定方法 アンケートの結果、最も回答数が多かった作品1点を校章として選定します。

※アンケートを実施する3点のデザイン案については、現在、手書きで応募いただいた作品の色・形等の調整を実施しており、調整終了後、各デザイン案を公開させていただきます。